



# 立憲民主党 手塚よしお

立憲民主党幹事長代行・東京都連幹事長

1996年の衆院選に初挑戦をして以来、ここ世田谷の地から国会の議席をお預かりし、衆議院議員5期を務めてきました。自民党に加わったことは一度もなく、ひたすらに「政治は社会で弱い立場の人のためにある」との信念を貫いてまいりました。30年近い月日が流れる中、社会も経済も文化も、当たり前のように変化をして、次々と進化を遂げています。

\*

しかし、変わることがないのは、自民党の金権政治です。この時代に、まさか「政治改革」なんて言葉に再び焦点があたり衆院総選挙が行われるなど予想だにせず、国政の一翼を担う立場にあるものとして、悔しく恥ずかしく申し訳ない思いです。今こそ、「政権交代」で自民党政治を終わらせなければなりません。

\*

この5年間、裏金・収賄・買収・詐欺などで、自民党からは実に13名もの国会議員が逮捕や起訴をされました。こんな腐敗した政治は、ここで終わりです。まもなく11月5日に迎えるアメリカ大統領選挙では、カマラ・ハリス氏が初の女性大統領になるうかと次なる世界の潮流が生まれる中、私たちこそが日本でも再び「政権交代」を実現させなければなりません。生活者・消費者・納税者・働く者ひとりひとりの手に、立憲主義に基づいた政治を取り戻す決意です。

# 政権交代で、くらしを立て直す。

## 裏金議員・旧統一教会議員を一掃

団体献金と政治資金パーティの全面禁止  
政策活動費の廃止、国会議員の「世襲」制限へ

## 家計の直接支援で物価高対策を

給付付き税額控除など、家計を直接支えます  
非正規雇用者が、望めば正社員で働ける社会へ

## 選択的夫婦別姓を速やかに導入

経済界ですら強い要望を出している今、ひとりひとりの人生の選択を尊重する社会を実現します。

## 人を大切にする政治へ

医療・介護・障害者福祉・出産・保育・教育・奨学金・学童など「ベーシックサービス」を国の責任で充実させることで、将来への不安が解消され、地域社会が活性化し、経済成長につながる好循環をつくります。

新しい政権でこれをやる

〈手塚仁雄プロフィール〉1966年(昭和41年)生まれ。世田谷区立八幡中、早大本庄高等学校、早稲田大学卒業。都議1期、衆院5期、野田佳彦内閣で総理大臣補佐官。現在、立憲民主党幹事長代行・東京都連幹事長。「市民と野党の共闘」を貫く。